

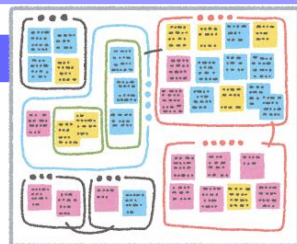
『途中参照』!? 『他者参照』!?

5月23日(火)に開催しました第1回情報教育研究グループ研修会において、GIGA 端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を活用して先生方が協働的に学ぶ研修を行いました。使用したソフトは「Whiteboard (デジタル付箋紙)」「PowerPoint」「Excel」の3つです。いずれのソフトも、クラウド環境(共同編集機能)を活用することで、個々の意見や情報がリアルタイムで記録・蓄積されていき、それを見ながら対話が始まるなど、協働的な学びへと繋げることが容易になります。これら活用の利点は「途中経過」が共有できることです。端末の日常的な活用が進んでいる学校では、情報を収集・整理・まとめる過程における「途中経過」を子ども同士で見合うことを推奨しているそうです。キーワードは『途中参照』『他者参照』です。『共有』や『参照』といったクラウドの特性を有効に活用することで、個別最適な学びと協働的な学びを充実させ、授業を改善していくことが可能となります。端末が無くても成立する「教師が教える授業」から、端末やクラウドの特性を生かした『子ども主体の授業』への転換を進めていくことが必要です。

研修内容『クラウド環境の活用と協働的に学ぶ体験を通して考える授業づくり』

①学習指導要領とGIGAスクール構想の関係の理解[Whiteboardの活用]

- ①紙媒体の資料から必要な情報を収集する。
- ②抜き出した情報を、「Whiteboard (デジタル付箋紙)」に記録・蓄積する。
- ③各グループで蓄積された情報を分かりやすく分類・整理する。
- ④全体で発表し共有する。



②端末の活用方法に関する優良事例から参考になる事例の収集[PowerPointの活用]

- ①特設ウェブサイト「StuDX Style」から、自分の授業の参考になる事例を探す。
- ②収集した事例を選び、「PowerPoint」に入力する。
- ③各グループで発表し合い、まとめた内容を共有する。



③学びの振り返り[Excelの活用]

- ①分かったこと、今後生かしていきたいことについて振り返る。
- ②振り返ったことを、「Excel」に入力する。



特設ウェブサイト「StuDX Style」について



1人1台端末の更なる利活用の促進に向けて、全国の学校や自治体から提供のあった端末の活用方法に関する優良事例等を数多く紹介してあるウェブサイトです。具体的には、活用のはじめの一歩となる「GIGAに慣れる活用事例」「つながる活用事例」、各教科等の学習に生かす「各教科等での活用」の事例と分類されており、教師や学級の子どもの状況に応じた活用事例を見つけることができます。各教科のポイントや特性を踏まえた活用事例等から、授業の参考になる事例や実践できる事例を収集してみてください。

先生方の振り返りから



- 「StuDX Style」にて全国の ICT 優良活用事例について知ることができた。
Whiteboard のデジタル付箋紙や PowerPoint の共同編集機能を活用することで、『途中参照』『他者参照』が可能となり、協働的な学びでの活用方法がわかりました。デジタル付箋紙や共同編集機能を使って、授業改善に生かしたい。また、研修を通して学んだ有益な情報を職員間で共有したい。
- 学習指導要領と GIGA スクール構想の関係について学んだ。Whiteboard や PowerPoint などを使うと、『途中参照』『他者参照』しながら学習することができるかと学んだ。タイピング能力を高められるようにしていきたい。
- Whiteboard や PowerPoint の活用方法でさらに理解を深めた。教えていただいた機能を活用していきたい。
- 慣れる・つながる活用事例一覧という実践集があるのはとても助かると思った。今まで自分がやってみたことと近いやり方も載っていたので、同じようなことで皆さん工夫されているのだなということもわかった。小学校1年生では、パスワードの入力が最初の難関かなと思っています。
- 慣れる・つながる活用事例について初めて知ることもあり、今後につなげていきたい。発達段階に応じてタイピング操作などの基本的な技術を授業に生かしていきたい。
- タブレットの活用事例が多く掲載されており分かりやすかったです。『途中参照』『他者参照』を活かしたいです。
- 『途中参照』や『他者参照』を体験して、個人作業をしながらも協働的な学びができることを実感しました。タブレットでの振り返りシートを初めて実践しています。今後は『他者参照』『相互参照』にまで発展させていきたい。
- 「StuDX Style」に先行事例が沢山あること。家庭学習カードをデジタル化し、傾向を分析・グラフ化した有効な使い方がされていたこと。Whiteboard を積極的に使いたい。「StuDX Style」の事例にあったように教員間の情報共有にクラウドを活用できたらと思う。

リーディング DX スクール事業について

GIGA スクールにおける学びの充実事業リーディング DX スクール事業に、黒田庄中学校、楠丘小学校、桜丘小学校の3校が研究指定校に決定しています。研究内容は、以下5点になります。

- ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- ②インターネット上の動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施
- ③端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実
- ④校務の徹底的な効率化、対話的・協働的な職員会議・教員研修の実施
- ⑤実践内容を動画・写真、研修のオンライン公開などにより地域内外に普及



これら5点について、研究指定校3校による研究・実践を手掛かりに、市内全体における1人1台端末の日常的な活用による授業改善、日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実を図っていきます。各校においても、5点の教育実践を踏まえ、全ての学習の基盤となる情報活用能力の育成や、デジタル教科書を活用した指導方法、効果的な活用について研究を進めていただきますようお願いいたします。研究指定校と各校の実践を『共有』『参照』しながら校種を超えて横展開し、市内全体で「すぐにも」「どの教科でも」「誰でも」活かせる1人1台端末の日常的な活用を目指していきます。

GIGA スクール環境と1人1台端末を活用した
みたい!ききたい!学びたい! 自ら学ぶ力を育む授業の実現へ!



(文責:大橋 正資)